

# 白百合女子大学学則

## 第1章 総則

### 第1条

(建学の精神)

白百合女子大学における教育の基本理念はキリスト教、特にカトリシズムの世界観による人格形成にある。

本学の母体であるシャルトル聖パウロ修道女会の創立の精神に則り、知性と感性との調和のとれた女性の育成をめざす。

(教育目標 一真・善・美一)

真理の探求という知性の絶えざる研磨に加え、人格的自己完成という単独では獲得しえない徳性を、人々への誠実な愛と奉仕の姿勢を身につけることによって可能な限り追求し、自己と自己をとりかこむ一切のものの中に美を見出し、また謙虚さに根ざした畏敬の念を感受してゆくこと、そこに本学の教育目標は置かれている。

校名、校章にも「白百合」の花を選び、清楚、謙虚さの中に気品を保ち、豊かな人間性と広い視野のうえに専門的な知識を備えた自立的女性の育成を、その目標とする。

- 2 本学は、教育研究水準の向上を図り大学の目的および社会的使命を達成するため、自ら点検評価を行う。

第2条 本学に大学院文学研究科修士課程および博士課程を設ける。

- 2 専攻および学生定員等は、次のとおりとする。

研究科	修士課程			博士課程		
	専攻	入学定員	収容定員	専攻	入学定員	収容定員
文学研究科	発達心理学専攻	10	20	発達心理学専攻	4	12
	児童文学専攻	6	12	児童文学専攻	3	9
	国語国文学専攻	6	12	} 言語・文学専攻	5	15
	フランス語フランス文学専攻	6	12			
	英語英文学専攻	6	12			

- 3 大学院の学則は別に定める。

第3条 本学に文学部を設け、その中に国語国文学科、フランス語フランス文学科、英語英文学科、児童文化学科（児童文学・文化専攻、発達心理学専攻）の4学科および日本語教育副専攻を置く。

第3条の2 国語国文学科は、日本の言葉や文学を見つめ直し、調査・研究する力を身につけることを通して、豊かな教養と柔軟な発想をもった人材の育成を目的とする。

- 2 フランス語フランス文学科は、フランス語圏の言語・文化・文学の総合的な学習を通して、高度な言語運用能力と異文化理解に立脚した教養を身につけた人材の育成を目的とする。
- 3 英語英文学科は、英語圏の言語・文化・文学の研究を通して、海外だけでなく自国の文化をも再評価できる広い視野を培い、国際的に活躍できる人材の育成を目的とする。
- 4 児童文化学科児童文学・文化専攻は、児童の環境を形成する児童文学・児童文化の研究と絵本・童話などの創作を通して、想像力と創造力をもった人材の育成を目的とする。
- 5 児童文化学科発達心理学専攻は、人間の生涯発達とその臨床的な対応について、発達心理学の立場から研究・教育を行い、幅広い分野で専門的な発達支援を行う人材の育成を目的とする。

第4条 修業年限は4年とする。

第5条 在学年数は8年を超えることができない。

第6条 学生定員は次のとおりとする。

学 科	入学定員	収容定員
国 語 国 文 学 科	100人	400人
フランス語フランス文学科	100人	400人
英 語 英 文 学 科	100人	400人
児 童 文 化 学 科 児童文学・文化専攻 発達心理学専攻	50人 50人	200人 200人

第7条 本学に学長、教授、准教授、講師、助教、事務職員その他必要な教職員を置く。

2 教職員組織に関する規程は、別に定める。

第8条 本学に教授会を置く。

2 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

1 学生の入学および卒業

2 学位の授与

3 前二号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

3 教授会は、前項に規定するもののほか、学長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、および学長の求めに応じ、意見を述べることができる。

4 前二項に規定するもののほか、教授会に関する規程は、別に定める。

第9条 学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

2 1学年を分けて、次の2学期とする。

前学期 4月1日から 9月30日まで

後学期 10月1日から 3月31日まで

第10条 休業日は次のとおりとする。

1 日曜日

2 国の祝日に関する法律に規定する休日

3 本学の創立記念日 6月29日

4 夏期休業 7月21日から9月30日まで

5 冬期休業 12月21日から翌年1月7日まで

6 春期休業 3月20日から3月31日まで

学長は必要がある場合、休業日もしくは休業期間を変更し、または臨時に休業日を定めることができる。

## 第2章 入学・休学・復学・退学・除籍・再入学・編入学・留学

第11条 入学の時期は学年の始めとする。

第12条 本学へ入学することのできる者は、次の各号の一つに該当する女子であることとする。

1 高等学校または中等教育学校を卒業した者。

2 通常の課程による12年の学校教育を修了した者。（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）

3 学校教育法施行規則の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者。（次の各号の一に該当する者）

①外国において、学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科

学大臣の指定した者。

②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者。

③文部科学大臣の指定した者。

④高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者。

⑤その他、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認められた者。

第13条 本学へ入学を志願する者に対して、入学試験を行う。

第14条 本学の規定する所に従って、高等学校長が推薦した入学志願者に対しては、学科試験を免除することができる。

第15条 入学を許可された者は、所定の学籍票と誓約書とを、定められた期日までに提出しなければならない。

第16条 学生が病気のため引き続き2か月以上休養を要するとき、その他特別の事由があると認められるときは、学長の許可を得て休学することができる。ただし、休学の期間が次年度にわたる時は、学年の始めに改めて願出しなければならない。

2 病気、その他の事由により、通学することが適当でないと認められる学生に対して、学長は休学を命ずることができる。

第17条 休学期間は、4年を超えることができない。

2 休学期間は修業年限および在学年数の中に、これを算入しない。

第18条 休学期間内にその事由がなくなったときは、学長の許可を得て、復学することができる。

第19条 退学しようとする者は、その理由を記載し、保証人連署のうえ、学長に願出しなければならない。

第20条 他の学校へ入学または転学しようとする者は、その旨を願出で、学長の許可を得なければならない。

第21条 次の各号の一つに該当する場合は、除籍する。

1 在学期間が所定の年数を超える者。

2 学納金を滞納し、催告を受けても納付しない者。

第22条 本学を退学、または除籍された者が、再び入学を志願したときは、選考のうえ、再入学を認めることができる。

第23条 本学の1学科を卒業した者が、再び他の学科へ入学を志願したときは、選考のうえ、これを認めることができる。

第24条 次の各号の一つに該当する者で本学への編入学を志望する者には、選考のうえ、相当年次に入学を許可することがある。

1 大学を卒業した者または退学した者。

2 短期大学または高等専門学校を卒業した者。

3 専修学校の専門課程（修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上であるもの）を修了した者。

（ただし、学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。）

第25条 本学学生にして、外国の大学（外国における正規の高等教育機関で学位授与権を有するもの、またはこれに相当する教育研究機関をいう。以下同じ。）で、一定以上学修することを志望する者には、本人の教育上有益であると認められた場合にかぎり、これを許可することがある。

2 前項の制度を留学という。

3 留学に関する事項は、別に定める。

### 第3章 授業科目、履修方法および学習の評価

第26条 本学で開設する科目および卒業に必要な単位数は次のとおりとする。

科 目	卒業に必要な単位数
宗教学科目	8
共通科目	20
外国語科目	8
自己の所属する学科の専門科目	82
各科目の最低修得単位数合計	118
卒業に必要な最低修得単位数合計	124

なお、卒業に必要な最低修得単位数と各科目の最低修得単位数合計との差（6単位）については、宗教学科目、共通科目、外国語科目、自己の所属する学科の専門科目、他の学科の専門科目および学則第34条に関わる課程の科目のうち、履修可能な科目から選択し、修得するものとする。

第26条の2 本学における授業科目および単位数は別表のとおりとする。

第27条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

- 1 講義および演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- 2 実験、実習および実技については、30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- 3 一の授業科目について、講義、演習、実験または実習のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準により算定した時間の授業をもって1単位とする。
- 4 卒業論文等については、学修の成果を評価するものとし、4単位から8単位の範囲で所定の単位を与える。

第28条 学生は、その学年に履修しようとする科目を所定の期日までに届け出なければならない。届け出をしない科目は履修することができない。

第29条 科目を履修し、試験（論文を含む。）に合格した者に対して、所定の単位を与える。ただし、演習・実験・実習および実技は、平素の成績によって認定することができる。

第29条の2 本学が教育上有益と認めるときは、本学と協定のあるまたは認定する他の大学または短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、30単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 前項の規定は、第25条の規定により学生が外国の大学に留学する場合に準用する。この場合において、前項中「30単位」とあるのは「38単位」に読み替えるものとする。
- 3 前項に定める単位認定に関する事項は、別に定める。

第29条の3 本学が教育上有益と認めるときは、短期大学または高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、30単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

- 2 前項に定める単位認定に関する事項は、別に定める。

第29条の4 本学が教育上有益と認めるときは、学生が入学する前に大学または短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 本学が教育研究上有益と認めるときは、学生が入学する前に行った前条に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。
- 3 前2項により修得したものとみなし、または与えることのできる単位数は、編入学等の場合を除き、

本学において修得した単位以外のものについては、30単位を超えないものとする。

第29条の5 前3条により修得したものとみなし、または与えることのできる単位数は、合わせて60単位を超えないものとする。

第30条 定期の試験はそれぞれの学期末に行う。なお、事情により追試験を行うことができる。

第31条 各科目につき出席すべき時間数の3分の1以上を欠席した者は、その科目の学年末試験を受けることができない。また、その科目修了の認定を受けることもできない。

第32条 削除

第33条 試験の成績は、S・A・B・C・Fの5段階とし、Fは不合格となる。

#### 第4章 教職課程、司書・司書教諭課程、保育士養成課程

第34条 教育職員の免許状を取得しようとする者は、教育職員免許法に定める科目を履修し、その単位を修得しなければならない。

学科・専攻別取得免許状の種類および免許教科は次のとおりである。

学 科・専 攻 名	免許状の種類および免許教科
国 語 国 文 学 科	中学校教諭 一種免許状 国語
	高等学校教諭 一種免許状 国語
フランス語フランス文学科	中学校教諭 一種免許状 外国語(フランス語)
	高等学校教諭 一種免許状 外国語(フランス語)
英 語 英 文 学 科	中学校教諭 一種免許状 外国語(英語)
	高等学校教諭 一種免許状 外国語(英語)
児 童 文 化 学 科 児童文学・文化専攻	幼稚園教諭 一種免許状
	小学校教諭 一種免許状

2 司書・司書教諭となる資格を取得しようとする者は、図書館法および学校図書館法に定める科目をそれぞれ履修し、その単位を修得しなければならない。

3 保育士となる資格を取得しようとする者は、児童福祉法施行令および児童福祉法施行規則に定める科目をそれぞれ履修し、その単位を修得しなければならない。

#### 第5章 賞 罰

第35条 次の各号の一つに該当する者に対し、学長はこれを賞することがある。

- 1 成績の優秀な者。
- 2 学生自治の向上に尽力した者。
- 3 学生の範となる行為をした者。

第36条 学業成績が優秀かつ品行方正な者で、経済的に学業の継続が困難となった者に対し、学長はこれを奨学生とし、奨学金を給与または貸与することがある。奨学金規程は別に定める。

第37条 本学学生にして本学の教育の方針にそむき、学生の本分を怠り、または成業の見込のない者に対し、学長は退学、停学または訓告の懲戒を加える。ただし、退学は、次の各号の一つに該当する者に対して行う。

- 1 性行不良で改善の見込がないと認められる者。
- 2 学業劣等で成業の見込がないと認められる者。
- 3 正当な理由がなくて出席常でない者。
- 4 学校の秩序を乱しその他学生としての本分に反した者。

## 第6章 卒業および学士の学位

第38条 第4条に規定する年限以上在学し、各学科の定める授業科目および単位数を修得した者に学位記を授与する。

第39条 卒業者には学士（文学）の学位を授与する。

## 第7章 科目等履修生

第40条 本学の授業科目の履修を希望する者があるときは、科目等履修生として履修を許可することがある。

- 2 科目等履修生は学期または学年毎に、その始めの時期に許可する。
- 3 科目等履修生は検定料および受講料を期日までに納めなければならない。
- 4 科目等履修生の規程については別に定める。

## 第8章 学納金

第41条 本学の学納金は、別表のとおりとする。

第42条 やむを得ない事情があると認められた場合は、学納金の全部またはその一部を免除することがある。

第43条 学納金に関する必要な事項は、別に定める。

第44条 削除

## 第9章 附属施設

第45条 本学に白百合女子大学図書館を置く。

- 2 図書館の規程は別に定める。

第46条 本学に次の研究施設を置く。

- 1 白百合女子大学発達臨床センター
  - 2 白百合女子大学児童文化研究センター
  - 3 白百合女子大学言語・文学研究センター
  - 4 白百合女子大学キリスト教文化研究所
  - 5 白百合女子大学生涯発達研究教育センター
- 2 研究施設の規程は別に定める。

## 第10章 学生寮

第47条 本学学生のため、学生寮を置く。

- 2 学生寮に関する事項については、別に定める。

付則 本学則は、昭和40年4月1日より施行する。

本学則は、昭和42年4月1日より施行する。

本学則は、昭和43年4月1日より施行する。

本学則は、昭和47年4月1日より施行する。

本学則は、昭和51年4月1日より施行する。

本学則は、昭和54年4月1日より施行する。

本学則は、昭和55年4月1日より施行する。

本学則は、昭和56年4月1日より施行する。

本学則は、昭和57年4月1日より施行する。

本学則は、昭和58年4月1日より施行する。

本学則は、昭和60年4月1日より施行する。

本学則は、平成2年4月1日より施行する。

本学則は、平成4年4月1日より施行する。

本学則は、平成5年4月1日より施行する。

本学則は、平成6年4月1日より施行する。

本学則は、平成7年4月1日より施行する。

本学則は、平成8年4月1日より施行する。

本学則は、平成9年4月1日より施行する。

本学則は、平成10年4月1日より施行する。

本学則は、1999年（平成11年）4月1日より施行する。

本学則は、2000年（平成12年）4月1日より施行する。

※ただし、第25条（2007年4月1日からは第26条）の改正については、2000年度入学者より適用する。

本学則は、2001年（平成13年）4月1日より施行する。

本学則は、2004年（平成16年）4月1日より施行する。

※ただし、第5条の改正については、2004年度入学者より適用する。

本学則は、2005年（平成17年）4月1日より施行する。

本学則は、2007年（平成19年）4月1日より施行する。

本学則は、2008年（平成20年）4月1日より施行する。

本学則は、2008年（平成20年）6月1日より施行する。

本学則は、2009年（平成21年）1月1日より施行する。

本学則は、2011年（平成23年）4月1日より施行する。

本学則は、2012年（平成24年）4月1日より施行する。ただし、改正後の第26条の規定は、2012年度入学者から適用するものとし、2011年度以前の入学者については、なお従前の例による。

本学則は、2013年（平成25年）4月1日より施行する。ただし、改正後の第26条の2別表については、2013年度入学者から適用する。

本学則は、2014年（平成26年）4月1日より施行する。ただし、改正後の第26条、第26条の2別表、第29条、第29条の2、第29条の3、第29条の4および第29条の5の規定は、2014年度入学者から適用する。

本学則は、2015年（平成27年）4月1日より施行する。ただし、改正後の第33条の規定および第26条の2別表については、2015年度入学者から適用する。

第26条の2 別表

1. 宗教学科目

必選区分	科目名	単位数
必修	キリスト教学Ⅰ	2
	キリスト教学Ⅱ	2
	宗教学ⅠA	2
	宗教学ⅠB	2
	宗教学ⅠC	2
	宗教学ⅠD	2
	宗教学ⅠE	2
	宗教学ⅠF	2
	宗教学ⅠG	2
	宗教学ⅠH	2
	宗教学ⅠI	2
	宗教学ⅠJ	2
	宗教学ⅠK	2
	宗教学ⅠL	2
	宗教学ⅠM	2
	宗教学ⅠN	2
	宗教学ⅠO	2
	宗教学ⅠP	2
	宗教学ⅠQ	2
	宗教学ⅠR	2
	宗教学ⅠS	2
	宗教学ⅠT (キリスト教的教育実践法)	2
	宗教学ⅠU	2
	宗教学ⅠV	2
	宗教学ⅠW	2
	宗教学ⅠX	2
	宗教学ⅠY	2
	宗教学ⅠZ	2
	宗教学ⅡA	2
	宗教学ⅡB	2
	宗教学ⅡC	2
	宗教学ⅡD	2
	宗教学ⅡE	2
	宗教学ⅡF	2
宗教学ⅡG	2	
宗教学ⅡH	2	
宗教学ⅡI	2	
宗教学ⅡJ	2	
宗教学ⅡK	2	
宗教学ⅡL	2	
宗教学ⅡM	2	



	宗教学ⅡN	2
	宗教学ⅡO	2
	宗教学ⅡP	2
	宗教学ⅡQ	2
	宗教学ⅡR	2
	宗教学ⅡS	2
	宗教学ⅡT(キリスト教的教育実践法)	2
	宗教学ⅡU	2
	宗教学ⅡV	2
	宗教学ⅡW	2
	宗教学ⅡX	2
	宗教学ⅡY	2
	宗教学ⅡZ	2
選択	人間交流力構築演習A	2
	人間交流力構築演習B	2
	ルカ福音書講読演習A	2
	ルカ福音書講読演習B	2
	宗教と文学・思想演習A	2
	宗教と文学・思想演習B	2
	いのちと家族演習A	2
	いのちと家族演習B	2
	キリスト教的人間学	1

## 2. 共通科目

必選区分	科目名	単位数
必修	パブリックリテラシー	2
	情報リテラシー	2
選択必修	文化と人間	4
	哲学	4
	現代思想Ⅰ	2
	現代思想Ⅱ	2
	世界の中の日本思想	4
	社会と倫理	2
	美学	4
	美術史	4
	神話の世界A	2
	神話の世界B	2
	神話学入門Ⅰ	2
	神話学入門Ⅱ	2
	コンピュータ文学研究A	4
	コンピュータ文学研究B	4
	日本中世文化史	4
	日本近代文化史	4
	西洋史Ⅰ	2
	西洋史Ⅱ	2

日本の外交と社会史	2
歴史からみた現代	2
豊かさの中の経済	2
暮らしと現代経済	2
政治学 A	2
政治学 B	2
憲法	2
法とは何か	2
女性と社会 A	4
女性と社会 B	4
犯罪学概論	2
男女共同参画と政策	4
子どもの権利と国際社会	4
女性と法	2
子どもと法	2
ボランティア・キャリア体験 I	4
ボランティア・キャリア体験 II	4
ボランティア・キャリア体験 III	4
ボランティア・キャリア体験 IV	4
海外ボランティア実践演習 A	2
海外ボランティア実践演習 B	2
国際協力論 A	2
国際協力論 B	2
社会活動におけるマネジメント A	2
社会活動におけるマネジメント B	2
社会福祉と私たち	2
児童と家庭の福祉	2
環境・文化共生型地域社会概論	4
食と環境	2
環境学のフロンティア	2
食農フィールド演習	4
観光文化論	2
住居と人間	4
現代心理学概論	4
食文化と化学	4
ビジネス・コンピュータスキル	4
メディア・デザインスキル A	2
メディア・デザインスキル B	2
アトリエ・リス・プラン・ワークショップ	4
英語ものづくり演習	4
ものづくり演習	4
スポーツ・健康科学 A	2
スポーツ・健康科学 B	2
スポーツ・健康科学 C	2
身体運動科学	4

教養総合セミナーA	2
教養総合セミナーB	2
教養総合セミナーC	2
教養総合セミナーD	2
教養総合セミナーE	2
教養総合セミナーF	2
数と形の世界A	2
数と形の世界B	2
生活と科学	2
自然科学の世界A	2
自然科学の世界B	2
教養としての日本語	2
日本語を磨く（文章力を養う）	2
日本語を磨く（読解力を養う）	2
美しい日本語を話す（基礎）	2
美しい日本語を話す（実践）	2
コミュニケーションのための日本語	2
メディアスキル・フィールド <sup>o</sup> ・ワークショップ <sup>o</sup>	4
コンピュータ・リテラシー基礎	0

### 3. 外国語科目

科目名	単位数
総合英語Ⅰ	1
総合英語Ⅱ	1
総合英語Ⅲ	1
総合英語Ⅳ	1
英語コミュニケーションⅠ	1
英語コミュニケーションⅡ	1
英語コミュニケーションⅢ	1
英語コミュニケーションⅣ	1
英講読文法A	2
英講読文法B	2
上級総合英語Ⅰ	1
上級総合英語Ⅱ	1
上級英語コミュニケーションⅠ	1
上級英語コミュニケーションⅡ	1
English for JFL TeachersⅠ	2
English for JFL TeachersⅡ	2
フランス語Ⅰ（文法・講読）	2
フランス語Ⅰ（会話）	2
フランス語Ⅱ（文法・講読）	2
フランス語Ⅱ（会話）	2
フランス語入門	2
初級フランス語	2
中級フランス語	2

ドイツ語 I A	2
ドイツ語 I B	2
ドイツ語 II A	2
ドイツ語 II B	2
中国語 I A	2
中国語 I B	2
中国語 II A	2
中国語 II B	2
中国語 (初級)	4
中国語 (中級)	4
韓国語 (初級)	4
韓国語 (中級)	4

#### 4. 専門科目

##### (1) 国語国文学科

必選区分	科目名	単位数
必修	基礎演習 (古典) I	1
	基礎演習 (古典) II	1
	基礎演習 (近代) I	1
	基礎演習 (近代) II	1
	基礎演習 (変体仮名)	1
	基礎演習 (漢文) A	1
	基礎演習 (漢文) B	1
	基礎講読 A	2
	基礎講読 B	2
	基礎講読 C	2
	基礎講読 D	2
	国語学概論	4
	総合研究 I	1
	総合研究 II	1
	テーマ別研究 I	2
	テーマ別研究 II	2
	テーマ別研究 III	2
	テーマ別研究 IV	2
	キャリア研究	2
	卒業論文	4
選択必修 I	文学史 (上代・中古)	4
	文学史 (中世・近世)	4
	文学史 (近代)	4
選択必修 II	上代文学演習	4
	中古文学演習	4
	中世文学演習	4
	近世文学演習	4
	近代文学演習	4
	国語学演習 (古典語)	4

	国語学演習（近代語）	4
	漢文学演習	4
選択必修 Ⅲ	上代文学講義	4
	中古文学講義	4
	中世文学講義	4
	近世文学講義	4
	近代文学講義	4
	国語学講義（古典語）	4
	国語学講義（近代語）	4
	漢文学講義	4
	中国文学講義	4
選択	国語国文学特講（表現学）	4
	国語国文学特講（民俗学）	4
	国語国文学特講（演劇）	4
	書道Ⅰ	2
	書道Ⅱ	2
	日本中世史	4
	日本近代史	4
	国語学特講（言語学概論）	4
	国語学特講（現代語文法）	4
	対照言語学	4
	日本語教育教授法	4
	日本語教育研究A	4
	日本語教育研究B	4
	日本語教育実習A	2
	日本語教育実習B	2
	国語科教育法ⅠA	2
	国語科教育法ⅠB	2
	国語科教育法特講A	2
	国語科教育法特講B	2
	総合日本語ⅠA	2
	総合日本語ⅠB	2
総合日本語ⅡA	2	
総合日本語ⅡB	2	

(2) フランス語フランス文学科

必選区分	科目名	単位数
必修	フランス語総合ⅠA	4
	フランス語総合ⅠA（既習）	4
	フランス語総合ⅠB	4
	フランス語総合ⅠB（既習）	4
	フランス語総合ⅠC	4
	フランス語総合ⅠC（既習）	4
	フランス語総合ⅡA	4
	フランス語総合ⅡA（既習）	4

	フランス語総合ⅡB	4
	フランス語総合ⅡB（既習）	4
	フランス語総合ⅢA	4
	フランス語総合ⅢB	4
	フランス語総合ⅢC	4
	フランス語コミュニケーションⅠA	2
	フランス語コミュニケーションⅠA（既習）	2
	フランス語コミュニケーションⅠB	2
	フランス語コミュニケーションⅠB（既習）	2
	フランス語コミュニケーションⅡA	2
	フランス語コミュニケーションⅡA（既習）	2
	フランス語コミュニケーションⅡB	2
	フランス語コミュニケーションⅡB（既習）	2
	1年次演習	4
	2年次演習	4
	キャリア研究	2
選択必修	専門演習A	4
I	専門演習B	4
	専門演習C	4
	専門演習D	4
	専門演習E	4
	専門演習F	4
	専門演習G	4
	専門演習H	4
	専門演習I	4
選択必修	専門ゼミ	4
II		
選択必修	2年次アトリエA	4
III	2年次アトリエB	4
	2年次アトリエC	4
	2年次アトリエD	4
	フランス文学研究A	4
	フランス文学研究B	4
	フランス文学研究C	4
	フランス文学研究D	4
	フランス文学研究E	4
	フランス文化研究A	4
	フランス文化研究B	4
	フランス文化研究C	4
	フランス文化研究D	4
	フランス文化研究E	4
	フランス社会研究A	4
	フランス社会研究B	4
	フランス社会研究C	4
	フランス社会研究D	4

	フランス社会研究 E	4
	フランス語学研究 A	4
	フランス語学研究 B	4
	フランス語発展演習 A	4
	フランス語発展演習 B	4
	フランス語発展演習 C	4
	フランス語発展演習 D	4
	フランス語発展演習 E	4
	仏語科教育法 I A	2
	仏語科教育法 I B	2
	仏語科教育法特講 A	2
	仏語科教育法特講 B	2
選択	卒業論文	4

備考 「専門ゼミ」は3年次、4年次にわたり履修しなければならない。

(3) 英語英文学科

必選区分	科目名	単位数
必修	言語学・文学・文化を学ぶための英語	1
	プレゼンテーション I	1
	プレゼンテーション II	1
	エクステンシヴ・リーディング I	1
	エクステンシヴ・リーディング II	1
	Grammar & Listening I	1
	Grammar & Listening II	1
	インテンシヴ・リーディング I	1
	インテンシヴ・リーディング II	1
	オーラル・コミュニケーション I	1
	オーラル・コミュニケーション II	1
	オーラル・コミュニケーション III	1
	オーラル・コミュニケーション IV	1
	ライティング I	1
	ライティング II	1
	ライティング III	1
	ライティング IV	1
	リーディング A	1
	リーディング B	1
	Advanced English A I	1
	Advanced English A II	1
	Advanced English B I	1
	Advanced English B II	1
	Digital Presentation A	1
	Digital Presentation B	1
	3年セミナー I	1
	3年セミナー II	1
	特別演習 I	1

	特別演習Ⅱ	1
	キャリア研究	2
選択必修 I	入門セミナー・英米	1
	入門セミナー・ことば	1
	入門セミナー・比較	1
	卒業論文	8
	卒業レポート	2
選択必修 II	アメリカ史	2
	アメリカ文化概論Ⅰ	2
	アメリカ文化概論Ⅱ	2
	アメリカ文学史Ⅰ	2
	アメリカ文学史Ⅱ	2
	アメリカ小説鑑賞A	2
	アメリカ小説鑑賞B	2
	アメリカ文学講義A	2
	アメリカ文学講義B	2
	アメリカ文化講義	2
	アメリカ文学研究A	2
	アメリカ文学研究B	2
	アメリカ文化研究	2
	American Culture	2
	American Society	2
	American Drama	2
	イギリス文学史A	2
	イギリス文学史B	2
	イギリス文化史Ⅰ	2
	イギリス文化史Ⅱ	2
	イギリス史Ⅰ	2
	イギリス史Ⅱ	2
	イギリス文学鑑賞A	2
	イギリス文学鑑賞B	2
	イギリス文化講義	2
	イギリス文学講義A	2
	イギリス文学講義B	2
	イギリス文化研究	2
	British CulturesⅠ	2
	British CulturesⅡ	2
	イギリス文学研究A	2
	イギリス文学研究B	2
	Irish Culture A	2
	Irish Culture B	2
	Australian Studies A	2
	Australian Studies B	2
英米演劇講義	2	
文学批評講義	2	



キリスト教と英米文化	2
英米文学とキリスト教	2
英語圏文学A	2
英語圏文学B	2
英語圏文化A	2
英語圏文化B	2
British/American Literature I	2
British/American Literature II	2
英語史 I	2
英語史 II	2
英語学概論 I	2
英語学概論 II	2
コミュニケーション概論 I	2
コミュニケーション概論 II	2
英語音声学 I	2
英語音声学 II	2
社会言語学	2
World Englishes	2
Journalism English I	2
Journalism English II	2
言語習得論 I	2
言語習得論 II	2
言語変化	2
異文化コミュニケーション I	2
異文化コミュニケーション II	2
児童英語入門	2
子どもに教えるための英語 I	2
英語教育の理論と実践 I	2
英語教育の理論と実践 II	2
国際関係論	2
国際交流論	2
Japanese Studies	2
J-E Translation I	2
J-E Translation II	2
J-E Translation III	2
J-E Translation IV	2
Japanese Pop Culture A	2
Japanese Pop Culture B	2
Japanese Society	2
Japanese History	2
Japanese Films A	2
Japanese Films B	2
Japanese Literature A	2
Japanese Literature B	2
Japanese Culture A	2

	Japanese Culture B	2
	East Asian Studies A	2
	East Asian Studies B	2
	J-E Translation Workshop	2
選択必修 Ⅲ	ビジネスコミュニケーションⅠ	2
	ビジネスコミュニケーションⅡ	2
	ホスピタリティーの英語初級Ⅰ	2
	ホスピタリティーの英語初級Ⅱ	2
	ホスピタリティーの英語中級Ⅰ	2
	ホスピタリティーの英語中級Ⅱ	2
	通訳基礎	2
	通訳実践	2
	通訳演習上級A	2
	通訳演習上級B	2
	English Through DramaⅠ	2
	English Through DramaⅡ	2
	英日翻訳演習Ⅰ	2
	英日翻訳演習Ⅱ	2
	通訳案内士Ⅰ	2
	通訳案内士Ⅱ	2
	日英翻訳Ⅰ	2
	日英翻訳Ⅱ	2
	Academic Writing	2
	Advanced Presentation	2
	TOEIC入門	2
	TOEIC初級	2
	TOEIC中級A	2
	TOEIC中級B	2
	TOEIC上級A	2
	TOEIC上級B	2
	TOEIC S&W	2
	アメリカ留学試験準備	2
	アメリカ留学試験対策	2
	グローバル文化研究A	2
	グローバル文化研究B	2
	グローバル文化研究C	2
	グローバル文化研究D	2
	グローバル文化研究E	2
	グローバル文化研究F	2
	グローバル文化研究G	2
	グローバル文化研究H	2
	グローバル文化研究I	2
	グローバル文化研究J	2
	グローバル文化研究K	2
Advanced Oral Communication AI	2	

	Advanced Oral Communication A II	2	
	Advanced Oral Communication BI	2	
	Advanced Oral Communication B II	2	
選択	実用英語文法 I	2	
	実用英語文法 II	2	
	米国の言語と文化	4	
	英国の言語と文化	4	
	海外就業体験	4	
	英語教師のための英文法 I	2	
	英語教師のための英文法 II	2	
	児童英語教材研究	2	
	児童英語観察実習	1	
	児童英語海外実習	4	
	児童英語アシスタント実習 I	4	
	児童英語アシスタント実習 II	4	
	ホスピタリティマネジメント概論	2	
	ホスピタリティマネジメント特講 A	2	
	ホスピタリティマネジメント特講 B	2	
	海外異文化体験研修	4	
	英語科教育法 I A	2	
	英語科教育法 I B	2	
	英語科教育法特講 A	2	
	英語科教育法特講 B	2	
	児童英語指導法ワークショップ I	4	
	児童英語指導法ワークショップ II	4	
	児童英語教育法	2	
	子どもに教えるための英語 II	2	
	英語演習 E	2	
	英語圏文化演習 B	2	
	グ	ビジネス英語 I	2
	ロ	ビジネス英語 II	2
	ー	ビジネス英語 III	2
	バ	グローバルビジネス基礎科目 I	2
	ル	グローバルビジネス基礎科目 II	2
	ビ	ビジネスプレゼンテーション	2
ジ	海外企業実地研修	2	
ネ	国内企業実地研修	2	
ス	グローバルビジネス研究	2	
プ	物語力ワークショップ	2	
ロ	ビジネスの基礎知識	2	
グ	英国ビジネス実践研修	4	
ラ	ビジネスマナーとホスピタリティ演習	2	
ム	英字新聞で読むビジネス	2	
	アジア・ビジネス研修	2	
	ビジネス・スタディーズ A	2	

	ビジネス・スタディーズ B	2
	実践キャリア研究	2
	海外企業フィールドワーク	2
	国内企業フィールドワーク	2

(4) 児童文化学科 児童文学・文化専攻

必選区分	科目名	単位数
必修	児童文化入門	4
	児童文学入門	4
	児童文学史・日本	4
	イギリス児童文学入門	4
	児童心理学入門	2
	芸術心理学	2
	キャリア研究	2
	卒業論文	8
選択必修 I	基礎演習 A	2
	基礎演習 B	2
選択必修 II	演習	4
選択必修 III	日本児童文学原典講読 A	4
	日本児童文学原典講読 B	4
	英米児童文学原典講読 A	4
	英米児童文学原典講読 B	4
	ドイツ児童文学原典講読 I	4
	ドイツ児童文学原典講読 II	4
	フランス児童文学原典講読 I	4
	伝承文学原典講読	4
選択	児童文学の読み方	4
	伝承文学概論	4
	ネオ・ファンタジー	4
	S F ファンタジー概論	4
	海外児童文学講義・ドイツ	4
	海外児童文学講義・イギリス A	2
	海外児童文学講義・イギリス B	2
	海外児童文学講義・カナダ	2
	海外児童文学講義・フランス	4
	海外児童文学講義・韓国	2
	海外児童文学講義・YA文学	4
	海外児童文学講義・アメリカ	4
	児童文学講義・絵本	4
	日本児童文学講義・近現代 A	4
	日本児童文学講義・近現代 B	4
	創作演習 A	4
	創作演習 B	4
	文章レッスン	4

翻訳演習 A	4
翻訳演習 B	4
出版演習	4
児童文化講義・民俗と子ども	4
児童文化講義・おもちゃ論	4
児童文化講義・子ども社会学	4
児童文化講義・子ども論 A	2
児童文化講義・子ども論 B	2
児童文化講義・編集入門	2
ストーリーテリング研究 I	4
ストーリーテリング研究 II	4
わらべうた研究	4
マザーグース研究	4
童謡研究	4
絵本演習	4
絵本制作	4
アニメーション制作	2
絵本研究	4
マンガ研究 A	2
アニメ研究 A	2
児童演劇入門	4
国語	2
社会	2
算数	2
理科	2
生活	2
音楽 I (器楽 1)	2
音楽 II (器楽 2)	2
音楽 III (基礎技能)	2
音楽 IV (合唱)	2
音楽 V (幼児・児童音楽)	2
音楽 VI (わらべうた研究)	2
図画工作	2
家庭	2
体育 I (児童体育初級)	2
体育 II (水泳)	2
体育 III (器械運動)	2
体育 IV (児童体育中級)	2
教師論 (小)	2
教育原理	2
教育心理学	2
教育社会学	2
教育課程の編成 (小)	2
初等国語科指導法	2
初等社会科指導法	2

初等算数科指導法	2
初等理科指導法	2
初等生活科指導法	2
初等音楽科指導法	2
初等図画工作科指導法	2
初等家庭科指導法	2
初等体育科指導法	2
保育内容総論	4
保育内容演習（健康）	2
保育内容演習（人間関係）	2
保育内容演習（環境）	2
保育内容演習（言葉）	2
保育内容演習（表現）	2
道徳教育の研究（小）	2
特別活動の研究（小）	2
小学校外国語活動Ⅰ	2
小学校外国語活動Ⅱ	2
教育方法	2
生徒指導研究（小）	2
生徒理解入門	1
幼児理解の研究	2
教育相談入門	1
総合的な学習の時間Ⅰ	2
総合的な学習の時間Ⅱ	2
授業実践論Ⅰ	2
授業実践論Ⅱ	2
教育実習（幼）事前事後指導・実習	0
教育実習（小）事前指導	0
教育実習（幼・小）	5
保育・教職実践演習（幼・小）	2
教育体験Ⅰ	3
教育体験Ⅱ	3
保育体験Ⅰ	1
保育体験Ⅱ	1
保育体験Ⅲ	1

(5) 児童文化学科 発達心理学専攻

必選区分	科目名	単位数
必修	心理学概論	2
	発達心理学入門	2
	発達心理学概論A	2
	発達心理学概論B	2
	発達心理学演習入門	2
	心理学実験観察演習ⅠA	2
	心理学実験観察演習ⅠB	2

	発達心理学演習 I A	2
	発達心理学演習 I B	2
	心理統計学 I A	2
	心理統計学 I B	2
	心理統計学 II	2
	心理学実験観察演習 II	2
	心理学実験観察演習 III	2
	キャリア研究	2
	卒業論文	8
選択必修 I	発達教育相談 A	2
	発達教育相談 B	2
選択必修 II	認知心理学	2
	社会心理学	2
	人格心理学	2
	臨床心理学	2
	発達心理学特講 A	2
	発達心理学特講 B	2
	発達心理学特講 C	2
	発達心理学特講 D	2
	臨床心理学特講 A	2
	臨床心理学特講 B	2
	臨床心理学特講 C	2
	臨床心理学特講 D	2
	選択必修 III	発達心理学演習 II A
発達心理学演習 II B		2
発達心理学演習 II C		2
発達心理学演習 II D		2
発達心理学演習 II E		2
発達心理学演習 II F		2
発達心理学演習 II G		2
発達心理学演習 II H		2
発達心理学演習 II I		2
発達心理学演習 II J		2
発達心理学演習 II K		2
発達心理学演習 II L		2
発達心理学演習 II M		2
発達心理学演習 II N		2
発達心理学演習 II O		2
発達心理学演習 II P		2
発達心理学演習 II Q		2
発達心理学演習 II R		2
発達心理学演習 II S		2
発達心理学演習 II T		2
発達心理学演習 II U	2	
発達心理学演習 II V	2	

	発達心理学演習 A	2
	発達心理学演習 B	2
	心理検査法 A	2
	心理検査法 B	2
選択	心理統計学入門	2
	子ども観察	2
	保育原理 I	2
	保育原理 II	2
	社会的養護	2
	社会福祉	2
	児童家庭福祉	2
	子どもの保健 I A	2
	保育内容総論	4
	乳児保育	2
	家庭支援論	2
	障害児音楽	2
	保育体験 I	1
	保育体験 II	1
	保育体験 III	1

#### 5. 教職に関する科目

科目名	単位数
教師論（中・高）	2
臨床教職論	2
教育学概論	2
教育と心理学	2
教育の制度と経営	2
教育課程の編成（中・高）	2
国語科教育法 II	2
仏語科教育法 II	2
英語科教育法 II	2
道德教育の研究（中）	2
特別活動の研究（中・高）	2
教育方法の理論と実際	2
生徒指導研究（中・高）	2
教育相談の基礎と方法	2
教育実習（中・高）	5
教育実習（高）	3
教職実践演習（中・高）	2
介護等体験の事前事後指導	4

#### 6. 司書に関する科目

科目名	単位数
生涯学習概論	2
図書館情報学概論	2



図書館制度・経営論	2
図書館情報技術論	2
図書館サービス概論	2
情報サービス論	2
児童サービス論	2
情報サービス演習Ⅰ	2
情報サービス演習Ⅱ	2
図書館情報資源概論	2
情報資源組織論	2
情報資源組織演習（目録）	2
情報資源組織演習（分類）	2
図書館基礎特論	2
図書館サービス特論	2
図書館情報資源特論	2
図書・図書館史	2
図書館施設論	2
図書館総合演習	2
図書館実習	3

#### 7. 司書教諭に関する科目

科目名	単位数
学校経営と学校図書館	2
学校図書館メディアの構成	2
学習指導と学校図書館	2
読書と豊かな人間性	2
情報メディアの活用	2

#### 8. 保育士養成課程科目

科目名	単位数
相談援助	2
保育者論	2
保育の心理学演習	2
子どもの保健ⅠB	2
子どもの保健Ⅱ	1
子どもの食と栄養	3
保育課程の編成	2
保育内容演習（健康）	2
保育内容演習（人間関係）	2
保育内容演習（環境）	2
保育内容演習（言葉）	2
保育内容演習（表現）	2
障害児保育	2
社会的養護内容	2
保育相談支援	2
保育の表現技術A	2

保育の表現技術 B	2
保育の表現技術 C	2
保育実習 I	4
保育実習指導 I A	1
保育実習指導 I B	1
保育実習 II	2
保育実習指導 II	1
保育実習 III	2
保育実習指導 III	1

#### 第41条 別表：学納金

1. 本学の学納金は次のとおりである。

科 目	金 額	備 考
入 学 検 定 料	35,000円	大学入試センター試験利用入試ならびに一般入学試験および大学入試センター試験利用入試の併願の場合は、別に定める。
入 学 金	350,000円	入学時のみ
授 業 料	700,000円	
施 設 設 備 費	300,000円	
維 持 費	100,000円	
心理学実験実習費	30,000円	児童文化学科発達心理学専攻のみ

2. シャトルル聖パウロ修道女会の会員（志願者を含む）に対して、学納金を免除することができる。
3. 同一法人による編入学者の入学金は、2分の1に減額する。
4. 再入学者の入学金は、2分の1に減額する。ただし、退学もしくは除籍後10年以上を経た者は対象外とする。